

2025年

相模女子大学 学芸学部 日本語日本文学科

秋

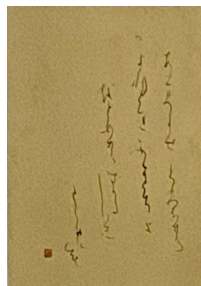
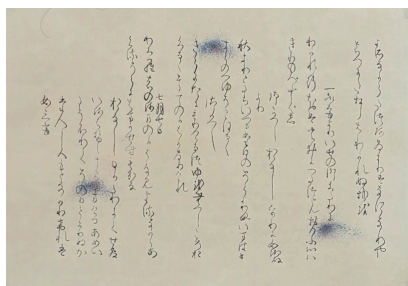
ニチブンのかわらばん

3年生



全日本高校・大学生書道展賞受賞

第30回全日本高校・大学生書道展にて、小島佑月さん、鷺谷桃香さんの作品が、全日本高校・大学生書道展賞を受賞しました。日本書芸院が主催する同展覧会は、全国の高校生・大学生から9,000点以上の応募作品が集まるものです。下田ゼミ（書道）では毎年応募しています。



受賞作品（左・小島佑月／右・鷺谷桃香）

卒業生

卒業生による座談会を開きました

相模女子大学国文研究会は、ニチブンの教員・卒業生などが所属する研究会です。2025年度の研究大会では、特別企画「私の仕事と大学での学び」として、卒業生によるキャリア座談会が開かれました。民間企業の社員・教員・司書・日本語教師として働く先輩たちに、現在の仕事の様子や就職活動、大学での思い出などを語っていただきました。

終了後には茶話会としてお茶やお菓子もふるまわれ、なかなかひと時を過ごしました。（2025年9月27日）



3年生

市立図書館で図書館実習を行いました

ニチブンの学生が多く在籍している司書課程では、毎年夏休みに公共図書館などで図書館実習を行っています。

今年も神奈川県内の県立図書館や市立図書館、国立国際子ども図書館（東京・上野）や静岡県内の図書館などで、様々な業務を約二週間かけて経験しました。（2025年8月～9月）



3年生

書道ゼミが京都で研修会を行いました

書道ゼミでは9月6日（土）から1泊2日で関西研修を実施しました。6日は滋賀県の観峰館で拓本実習、奈良県の一心堂（書道用品店）を見学し、7日は奈良市杉岡華邨書道美術館、京都の藤井有鄰館を見学しました。普段教科書でしか見ない実物を鑑賞し、卒業制作展で使用する筆墨を購入するなどして、充実した二日間となりました。（2025年9月6日～7日）



日文資料室

（10号館2階）



専門書が充実している他、日文卒業生のスタッフが常駐しており、学生の強い味方となっています。

【企画・編集】日本語日本文学科・広報担当

所在地：〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1

相模女子大学10号館 日文資料室

mail（お問い合わせ）：nichibun10@mail2.sagami-wu.ac.jp

web：https://sagami-nichibun.jp



ニチブンで学ぶことのできる10分野を担当する専任教員からのメッセージを紹介します。みなさんの学びたい分野や教員を選ぶ際の参考にしてください。

日本古典文学

全時代・全分野の専門教員を揃えているので(平安時代だけで2人！全国有数！)、細大漏らさぬ科目群を置いています。大学は先生も好きなことを授業にできるので古文ってオモロイやん！となってくれるよう準備して皆様をお待ちしています！

(担当教員：山田純[上代]・後藤幸良[中古]・武田早苗[中古]・高木信[中世] *時代順)

日本近現代文学

近現代文学は個性的で多彩な作家、作品の巨大な集合です。誰もが知る近代作家の代表作を学ぶだけでなく、ときには聞いたこともない現代作家の作品にも触れながら自分の興味や世界をおおきく開いてほしいと思います。

(担当教員：南明日香・山口徹・藤田佑)

中国古典文学

中国古典文学の授業では、書き下しや句法の理解だけでなく、漢字一文字一文字が繋がることで、どのような意味になるのかを考えていきます。漢文を学ぶとは、日頃使っている文字を問い直すこと、自分がどのような世界で生きてきたのかを見つめ直す一歩にもなります。授業を通して、一緒に漢字と漢文の新たな一面を探す旅に出してみましょう。

(担当教員：加納留美子)

日本語学

私たちにとって最も身近な言葉である日本語。その日本語に対してゆっくりと向き合い、しっかりと考えるための授業を、日本語教育との連携も意識して取り揃えました。皆さんの日本語力をさらに輝くものにしてみませんか。

(担当教員：梅林博人・永谷直子 *50音順)

日本語教育学

日本国内にも、海外にも日本語を学んでいる人は大勢います。彼らにとって日本語はどのような言語でしょうか。大学の周辺地域で日本語を学ぶ学習者と交流しながら、どのような日本語を、どのように教えたらいいか、考えていきます。

(担当教員：永谷直子)

10分野の履修モデル



現代文化

現代文化・コンテンツの研究は「社会学」が主流です。けど、それを見たら皆様が期待するのと「違うなあ」ってなると思います。ニチブンで置いている科目こそ「これ、これだ」ってなると思います。「現代文化入門」から始まりますので、そこで待っています！

(担当教員：高木信・藤田佑・山田純 *50音順)

書道

書道の実技と理論を1年生から段階的に学びます。実用書道や校外研修の科目が今回新設されました。国語や書道の教員免許が取得でき、初心者からでも書道の実践能力を身に付けることができます。

(担当教員：下田章平)

図書館情報学

資格取得が目的の司書課程では実務的な学びや実習が中心ですが、日文の専門科目としての図書館情報学では図書館のサービスや施設、専門職員、利用者、運営者、資料など、図書館について様々な観点から学び研究していきます。(担当教員：宮原志津子)

司書課程で学ぶさまざまなことの土台となっている学問分野が図書館情報学です。具体的には、図書館を研究対象とする従来の図書館学と、図書館に限らず広く情報の生成、蓄積、利用を研究する情報学が融合して誕生しました。(担当教員：金井喜一郎)

教職

人に教えるためには、教師自身で、その教材の魅力をも十分に知っている必要があります。「教材特講」「国語教員能力養成講座」「国語科教育法」などで、教材の面白さ、正確な知識、教えるための実践力を学びます。(担当教員：藤田佑)

もっと詳しく知りたい方のために、各分野を紹介するパンフレットをご用意しています。日文資料室やオープンキャンパスで配布中です。

